

2016 地域文化財専門家・研修 募集！

- 対 象：静岡県に在住する建築士
- 実施日：土曜日 13:30～17:00（一回 3 時間半程度）× 7 回（6 月～12 月、毎月 1 回）
H28 年 6/18 7/23 8/20 9/17 10/8 11/19 12/10
- 会 場：常葉大学サテライトキャンパス（静岡市葵区川辺町 2-4：JR 静岡駅から徒歩 10 分）
ただし、6/18 はペガサート、8/20・11/19 はあざれあ、9/17 は場所未定
- 人 数：30 名（申込み多数の場合は、抽選により決定）
- 受講料：建築士会会員 30,000 円 非会員 38,000 円
- 修了証：7 回すべての研修の受講者に、静岡県建築士会会長から修了証を発行する。

●プログラム

月／日	テーマ	講義 (90 分)／演習 (120 分)	講 師
6 ／ 18	0 文化財建造物活用の意義	オリエンテーション ・文化財建造物をどうとらえるか ・文化財建造物を活用することの意義は何か	文化庁 県教委
	1 静岡県の文化財建造物	・静岡県の概観／事例紹介 ・文化財建造物を見に行こう 【宿題】文化財建造物を 1 人 10 箇所程度リストアップ	建部恭宣(静岡県文化財保護審議会) 土屋和男(常葉大学)
7 ／ 23	2 文化財建造物の保存	・見つけよう／調べよう ・文化財建造物の保存方法／保存事例を学ぶ 【発表】見つけてきた文化財建造物 2, 3 の発表	西澤泰彦 (名古屋大学)
8 ／ 20	3 文化財建造物の活用	・見せよう／使おう／計画をたてよう／整えよう ・文化財建造物の活用とまちづくり：事例に学ぶ 【演習】グループ編成により、1 グループ 1 件に絞る	瀬口哲夫 (名古屋市立大学)
9 ／ 17	4 現場研修	〈場所未定〉	増田千次郎 (芝浦工業大学)
10 ／ 8	5 文化財建造物の修復	・保存から修復、修復から活用へ —修復の考え方と方法— 【演習】実地研修の状況と経過報告	木村 勉 (長岡造形大学)
11 ／ 19	6 さらなる活動の展開 1	・文化財建造物を活かしたまちづくり・景観 ・歴史まちづくりの法制度／平常時・非常時の専門家の役割 【演習】まちづくりへの活用	西村幸夫 (東京大学) 塩見 寛 (景観整備機構)
12 ／ 10	7 さらなる活動の展開 2	・文化財建造物の保存・活用と展開 【発表会】1 件について聞き取り、実測等の成果発表	後藤 治 (工学院大学)
10	研修を振り返って	教本や研修内容に対する意見、提案	

(CPD 対象研修)

- 募集期間：平成 28 年 5 月 2 日(月)～6 月 3 日(金)
- 応募申込：E-mail により次の内容を送付する (FAX・郵送は不可)。
①氏名 ②住所 ③勤務先名称及び住所 ④連絡先(電話・E-mail アドレス)
⑤会員・非会員の別 ⑥非会員の場合、建築士の種別及び免許証番号・取得年月日
送付先：honkai@shizu-shikai.com
* 研修内容の連絡、研修後のネットワーク等すべて E-mail なので、申込みも E-mail のみとしています。
- 抽選により研修生を決定：6 月 10 日(金)までに採否を申込者全員に通知します。
同時に研修生には受講料の振込先等を連絡します。
- 振込期限：平成 28 年 6 月 15 日(水)

主催 公益社団法人 静岡県建築士会 景観整備機構

TEL 054-254-9381 E-mail honkai@shizu-shikai.com